



# - Dream - をかなえる若者たち

## 広い世界に挑戦

小さい頃は、いろいろな衣装を着て踊るのが楽しかったです。高校卒業を前に、ビデオオーディションに合格し、アメリカのバレエ団に入団しました。迷いや不安はなく、楽しみな気持ちの方が大きかったです。最初は、ほとんど英語が理解できませんでしたが、今では自分の意見を主張できるようになりました。自分をしっかりと表現することも海外で活動する魅力です。

## 仲間の言葉が力に

今のメンバーは、踊りに対してはつきり意見を言ってくれるので、落ち込むこともありませんが、良い刺激になっています。

## 子どもたちへ

夢をあきらめないで、やりたいことを続けてほしいです。



海外で活躍するバレエダンサー

渡辺 優衣さん

- 4歳のとき大湊区の「柳沢鹿の子バレエ」でバレエを始める。
- 京都のバレエ専門の高校に進学。ベルリン国際コンクールに出場。
- 現在は、カナダのバレエ団に在籍。プロとして海外ツアーなどを行い、世界中で活躍している。



## ゆかた祭りを開催

上越妙高駅ができれば地域が活性化すると思っていました。それだけでは思い描いた未来はやって来ませんでした。自分たちで駅周辺を楽しい場所にしようと、仲間と一緒に「ゆかた祭り」を企画しました。

## アイデアを形に

祭りが近づくにつれ、「お客さんは来てくれるだろうか」と不安が高まりました。

そんな時、市長とのキャッチボールトークが行われ、「どんなイベントも小さいところからスタートした。大切なのはアイデアを形にすることだ」という市長の言葉が背中を押してくれました。

## 大好きな地域のために

上越には海や山など都会にはない自然の楽しみがあります。将来は、大好きな上越でまちづくりがしたいです。



全国高等学校総合文化祭(弁論部門)で優勝

上越高等学校3年

宮澤 崇紘さん

- 演題は「まちづくりの第一歩」
- 上越妙高駅を人の集まる楽しい場所にしたいと「ゆかた祭り」を企画。まちづくりの第一歩は行動を起こすこと。高校生の若いパワーでまちを元気にしようと呼び掛けました。

